



和弘食品株式会社

2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

北海道の新鮮な食材をもとに、**スープ・タレ・天然エキス**を作り出す業務用調味料の専門メーカーです。

2022年2月10日
証券コード 2813



1. トップメッセージ
2. 2022年3月期 第3四半期 連結決算概要
3. 日本セグメント概要
4. 米国セグメント概要
5. 2022年3月期 連結業績予想

1. トップメッセージ
2. 2022年3月期 第3四半期 連結決算概要
3. 日本セグメント概要
4. 米国セグメント概要
5. 2022年3月期 連結業績予想

「本物志向」・「天然志向」・「健康志向」
を基本に少量多品種短納期生産に磨きを掛け、高付加価値の商品作りと
お客様満足度の向上に努めてまいります。

株主並びに投資家の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。この度の報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第3四半期は、国内での新型コロナウイルス感染症が減退をみせ、徐々に外食産業も回復の兆しをみせておりました。しかし今年に入りオミクロン株が急拡大する等、依然として先行き不透明な状況が続くと考えております。

そうしたなか米国セグメントでは、引き続き自社ブランド商品が売上を牽引し、第3四半期時点で、過去最高の年間売上高を更新中です。今後も販売力・生産力強化に向けて積極的に事業活動を行ってまいります。

日本セグメントにおいては、飲食店舗の時短営業も解除され、外食市場向け商品の販売が堅調に推移しました。また、内食・中食市場向け商品も引き続き昨年度を上回るペースで堅調に推移した結果、おかげさまで12月に創業以来最高の月間売上高を達成いたしました。また、今期より販売を開始した無菌充填方式による業務用ガラスープが、多くのお客様からご好評をいただいております。今期中には第3弾となる「生ガラ豚骨スープ」をラインナップに追加する予定ですので、どうぞご期待ください。

このような嬉しいニュースがある一方で、原材料費や流通コスト等の高騰により、日本セグメントでは利益の十分な確保が困難となっている現状がございます。製造コストの増加は過去にも何度かございましたが、当社が掲げる「3つの誠実」を達成するため、積極的なコストカットに努めてまいりました。今後も企業努力の継続はもちろんですが、市場の動向に注視しつつ、一つひとつの商品の魅力を高め、お客様により満足いただける商品価値の提供に努めてまいります。



代表取締役社長 和山 明弘
WAKOUSHOKUHIN CEO Kazuyama Akihiro



(写真：WAKOU USA INC.)

1. トップメッセージ
2. 2022年3月期 第3四半期 連結決算概要
3. 日本セグメント概要
4. 米国セグメント概要
5. 2022年3月期 連結業績予想

連結業績

- ・ **売上高** **8,634**百万円 前年同期は7,589百万円
- ・ **営業利益** **324**百万円 前年同期は▲155百万円
- ・ **当期純利益** **305**百万円 前年同期は▲100百万円
- ・ **通期連結業績予想を上方修正** (詳しくはP19)

和弘食品

- ・ 飲食店の時短営業解除により、外食向け調味料が堅調に推移
- ・ 2021年12月の月間売上高は創業以来最高を記録
- ・ 原材料費や流通コスト等の高騰により、利益が低調に推移

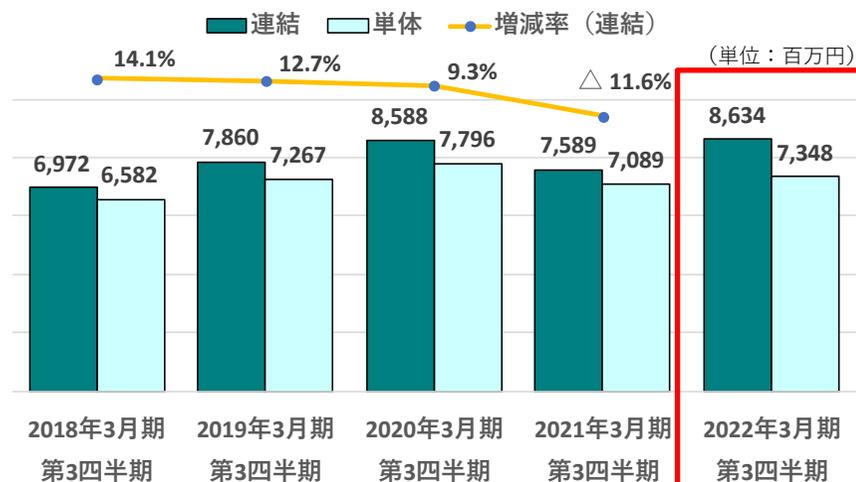
WAKOU USA

- ・ 引き続き、売上が堅調に推移、連結決算業績に貢献
- ・ 特に自社ブランド商品の売上が好調、売上の半分以上を占める
- ・ 年間売上高、利益ともに過去最高を更新中

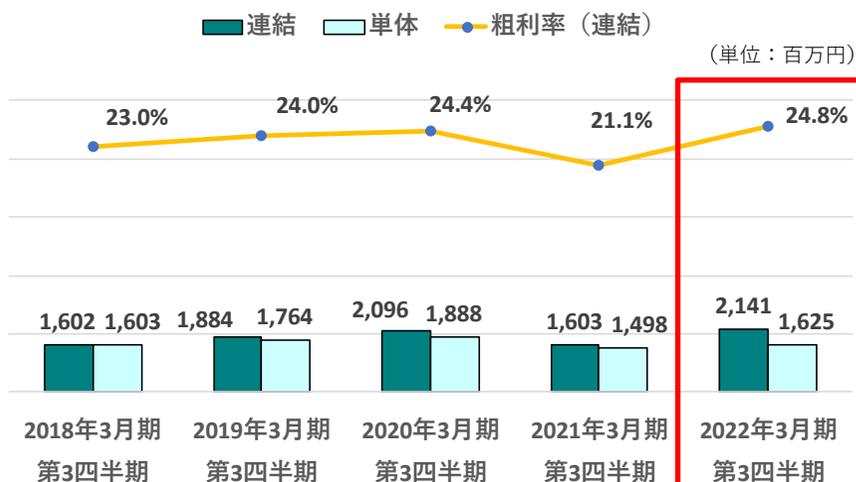
	2021年3月期 第3四半期決算	2022年3月期 第3四半期決算	前年同期比 増減額	(単位：百万円) 前年同期比 増減率
売上高	7,589	8,634	-	-
売上総利益	1,603	2,141	-	-
営業利益	△ 155	324	-	-
経常利益	△ 101	323	-	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	△ 100	305	-	-
1株あたりの 当期純利益 (EPS)	△ 122.1	372.6	-	-

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。このため、本資料の経営成績に関する説明の第3四半期連結累計期間と比較した増減額及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

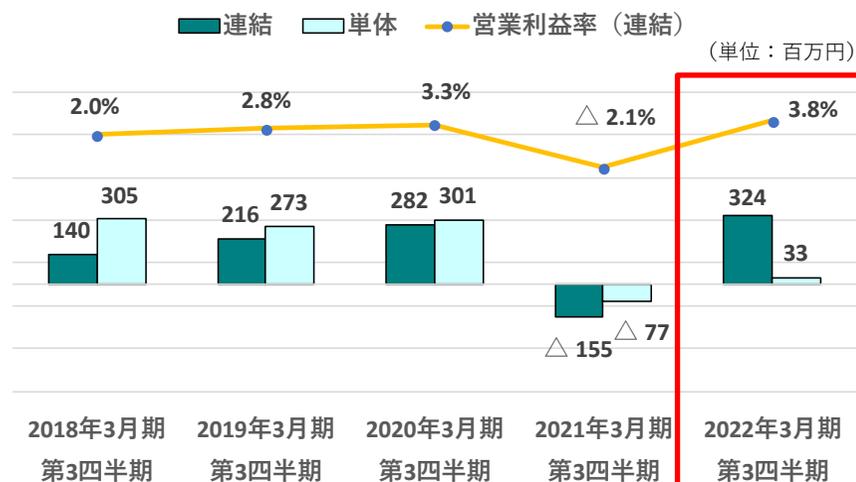
売上高推移 (連結・単体)



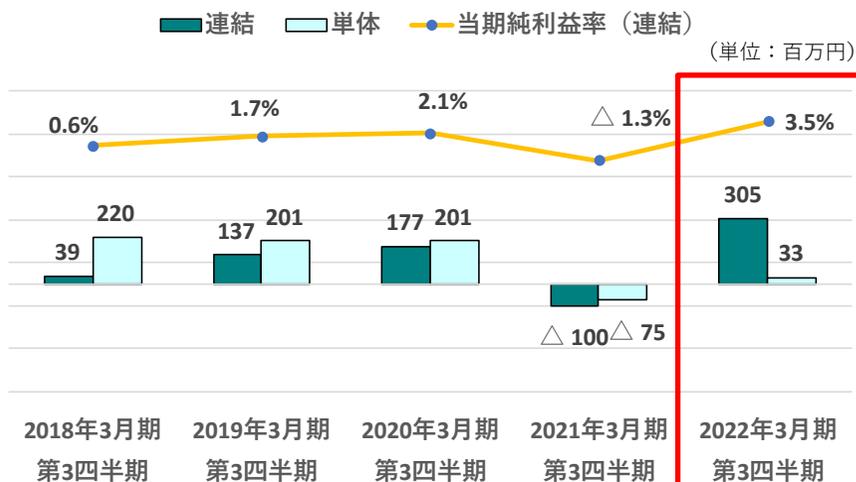
売上総利益推移 (連結・単体)



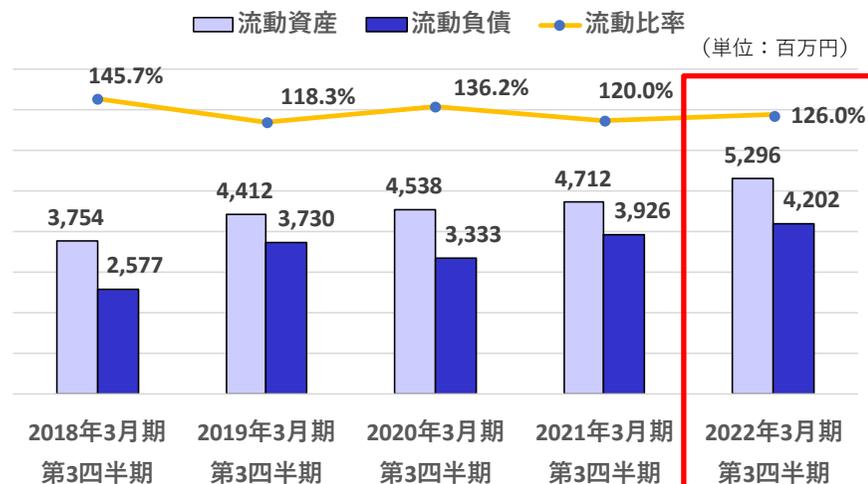
営業利益推移 (連結・単体)



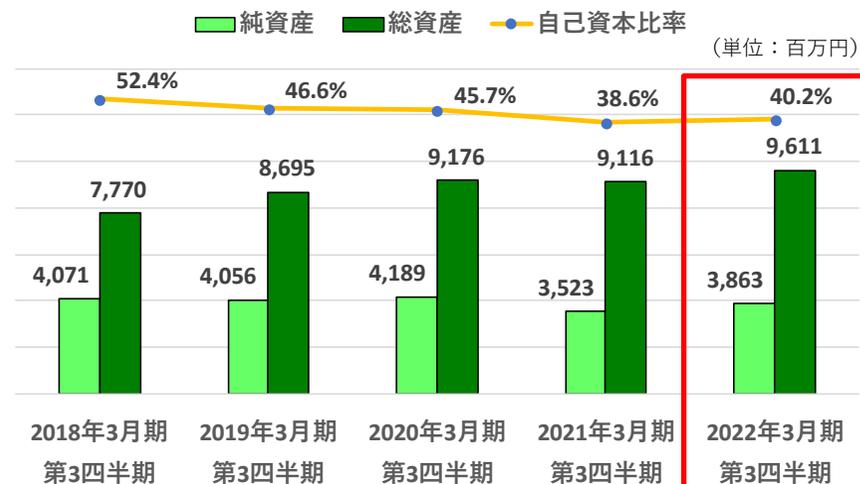
当期純利益推移 (連結・単体)



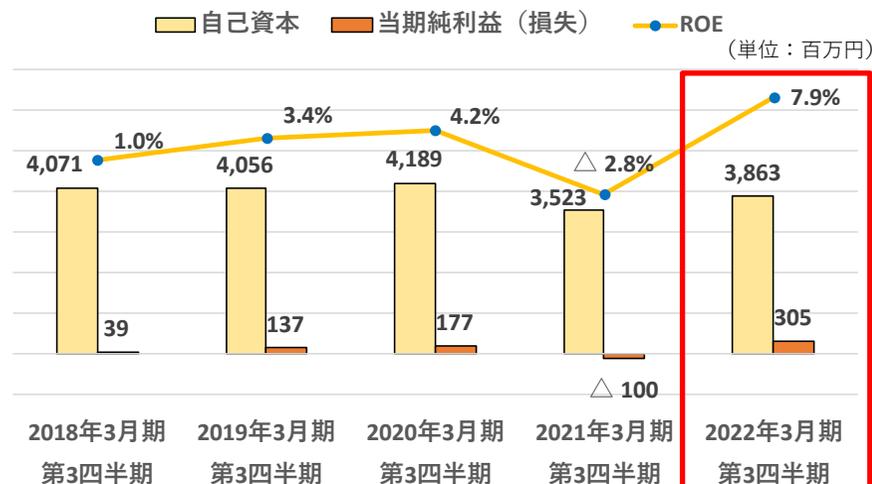
流動比率推移 (連結)



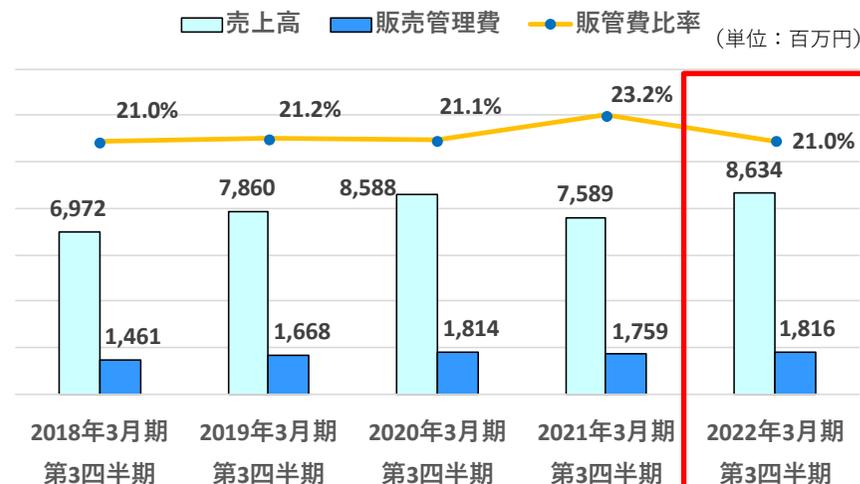
自己資本比率推移 (連結)



自己資本利益率推移 (連結)



販管費比率推移 (連結)



1. トップメッセージ
2. 2022年3月期 第3四半期 連結決算概要
3. 日本セグメント概要
4. 米国セグメント概要
5. 2022年3月期 連結業績予想

● 業務用

(単位：百万円)

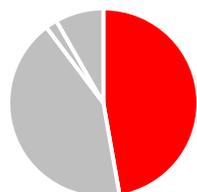
第3Q売上高

2020.4-12

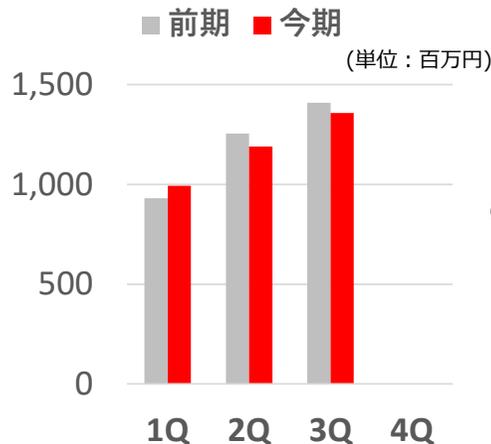
3,594

2021.4-12

3,540



47.3%
売上構成比



・主にコンビニ向け、チェーン店向けのラーメンスープやWAKOU USA向けの特製黒マー油が堅調に推移しました。

(当社ブランド品 例)



● 別添用

(単位：百万円)

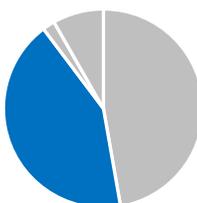
第3Q売上高

2020.4-12

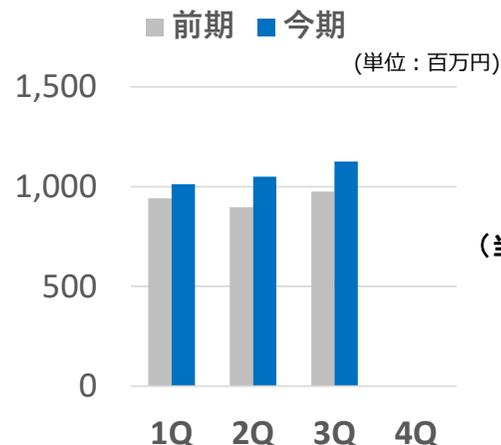
2,813

2021.4-12

3,186



42.5%
売上構成比



・引き続き、巣ごもり消費による購買機会の増加により、主に※PB製品の冷麺スープやラーメンスープの販売が前年を上回るペースで好調に推移

(当社ブランド品 例)

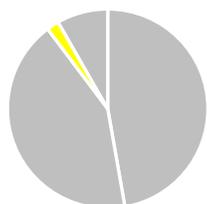


※ PB・・・プライベートブランドの略。商品企画に合わせて当社でレシピ設計をした商品をお客様のブランド名で製品化し、販売することを言います。

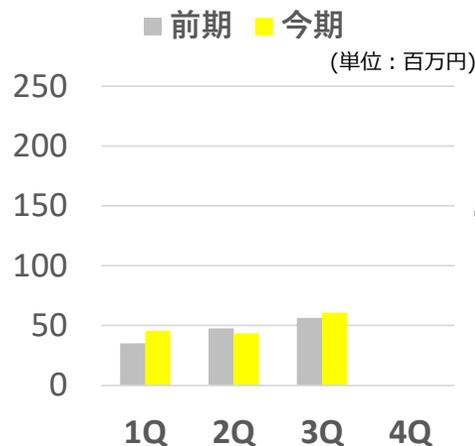
● 天然エキス

(単位：百万円) **第3Q売上高**

2020.4-12	139
2021.4-12	149



2.0%
売上構成比



・惣菜メーカーや菓子メーカー等の原料として使用されるホタテエキスの販売がメイン

(当社ブランド品 例)



ホタテエキス



利尻コンブエキス



カニエキス

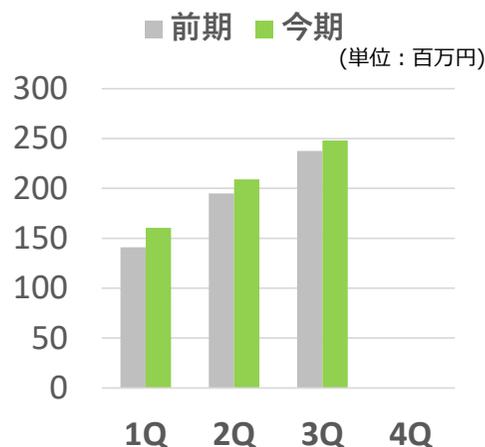
● その他

(単位：百万円) **第3Q売上高**

2020.4-12	573
2021.4-12	617



8.2%
売上構成比



・協力会社に委託して製造した商品の販売がメイン

・外食市場向けのガラスープ販売が好調に推移

業務用ガラスープの使用メリット

白湯スープの仕込みに
かかる時間は、およそ

8時間以上



そこで仕込みの手間を省いた「業務用ガラスープ」が大活躍！

人件費削減

削減できた時間やコストを
有効に活用できる！

光熱費削減

仕込時間短縮

安定品質

簡単調理

ゴミの削減

当社では新たに**無菌充填方式**を採用した新商品を開発し、素材本来の香りや味わいをお届けできるようになりました。

無菌充填のメリットは、高温で長時間加熱殺菌するレトルト品と違い、短時間で高温殺菌するため、素材本来の味わいや香りを最大限残した

「**作りたての味**」に近い状態を提供できる点にあります。

また**未開封・常温流通品**のため、冷凍ストッカーの用意が不要なく、

必要な時にすぐ使用できることも魅力の一つです。



豚白湯ガラスープMN-1

国産の豚骨、豚足、豚頭、豚脂肪を炊き上げた豚100%の白湯ガラスープ。



鶏白湯ガラスープMN-2

国産の鶏骨、鶏足先、丸鶏などを常圧で炊き上げた鶏ベースの白湯ガラスープ。

2月下旬より販売予定

生ガラ豚骨スープMN-3

「生の豚骨ガラ」をじっくり炊き出した豊かな風味の豚白湯ガラスープ。



とろとろアツアツアツ心も身体もホカホカ

寒い冬こそ
あんかけ麺メニュー

えび味噌あんかけラーメン

中華あんかけの素と北海道えび味噌ラーメンスープをブレンドしたスープに、北海道甘えびオイルで香ばしさと香りをプラスしました。

【具材】

えび、豚バラ肉、白菜、もやし、にんじん、たけのこ、きくらげ、ヤングコーン

【作り方】

- ① **中華あんかけの素**40gと**北海道えび味噌ラーメンスープ**30gを水360mlに入れてよく混ぜ、調味液を作ります。
- ② 中華鍋に油を入れ、具材を炒めます。
- ③ 具材に火が通ったら、①の調味液を加え、混ぜながらとろみが出るまで加熱します。
- ④ たっぷりのお湯で麺を茹でます。
- ⑤ 丼に④の麺を入れ、③のスープを入れます。
- ⑥ 仕上げに**エビ油**を10mlほどまわしかけて完成です。

【今回使用した当社製品はこちら】



使用商品：**中華あんかけの素（E-723）*要冷蔵**

入数：1Lペットボトル×8入り

商品特長：オイスターエキスをベースに生姜やんにく、香辛料、かつおエキス等で味の深みと風味を出した本格的なあんかけ中華ベースを再現。



使用商品：**北海道えび味噌ラーメンスープ（AE-309）**

入数：2kgスタンディング袋×6入り

商品特長：えび粉末とえびオイルを配合した濃厚な味わいのえび味噌ラーメンスープです。



使用商品：**エビ油（No.1336）**

入数：300g袋×30入り

商品特長：海老の風味が料理を一段と美味しくし、ラーメン、つけ麺などに入れますと、エビ油が麺に絡まり旨さがアップします。



海鮮ホタテ塩味 ザンギ

北海道のソウルフード“ザンギ”にホタテ味が登場！
北海道ホタテ塩だれで味付けしたザンギに、青のりのアクセントで、
文句なしに美味しい塩味のザンギになりました。

【材料】

鶏肉、青のり、キャベツ、片栗粉

【作り方】

- ①鶏肉に対し、**北海道ホタテ塩だれ**を約8%加えて10分以上おきます。
- ②①に片栗粉を加えます。鶏肉に対し、約15%程度が目安です。
- ③たっぷりの油で揚げます。鶏肉の大きさにもよりますが、170℃で約4分が目安です。
- ④お皿に盛り付けて、青のりを少々かけて完成です。

【北海道第二工場（北海道紋別郡湧別町）】



ホタテの名産地「サロマ湖」近郊にある北海道第二工場、
ここでは北海道オホーツク地方で加工されたホタテの煮汁
から、天然のホタテエキスを製造しています。
和弘食品の強みのひとつである
“北海道食材から天然エキスを作る技術”が光る一品です。

【今回使用した当社製品はこちら】



使用商品：**北海道ホタテ塩だれ**（AH-290）
入数：2kgスタンディング袋×6入り
商品特長：北海道ホタテエキスを30%配合した、
ホタテの旨味たっぷりの塩だれです。

1. トップメッセージ
2. 2022年3月期 第3四半期 連結決算概要
3. 日本セグメント概要
4. 米国セグメント概要
5. 2022年3月期 連結業績予想

● ※NB製品

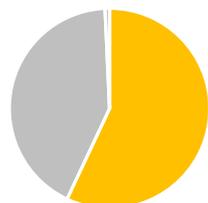
※ NB・・・ナショナルブランドの略。当社が独自に企画した商品を当社のブランド名で製品化し、販売することを言います。

(単位：千ドル)

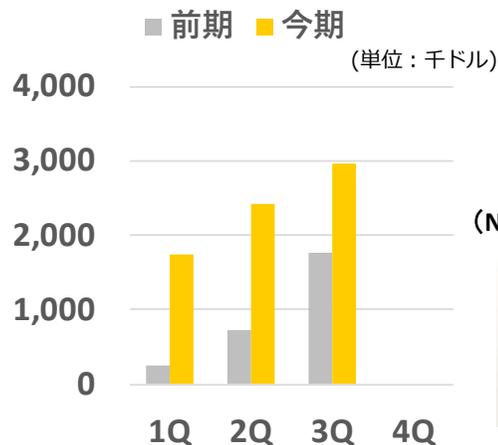
第3Q売上高

2020.4-12 2,753

2021.4-12 7,139



57.0%
売上構成比



・北米で大人気の「豚骨系」スープの売れ行きが好調に推移

・味噌系やスパイシー系の需要も増加中

(NB製品を使用したサンプル品画像)



Tonkotsu Ramen Soup Base
(豚骨スープ)



Tokyo Miso Ramen Base
(味噌スープ)



Spicy Miso Ramen Base
(スパイシー味噌スープ)

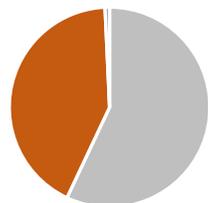
● PB製品

(単位：千ドル)

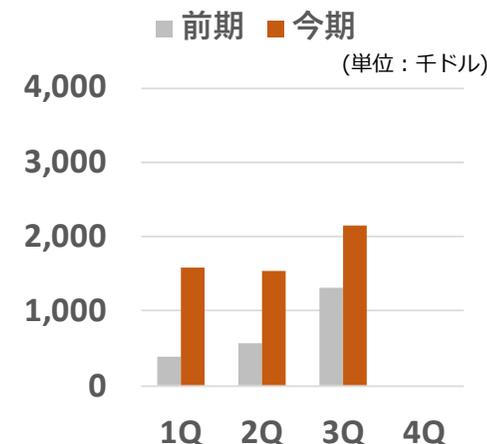
第3Q売上高

2020.4-12 2,283

2021.4-12 5,296



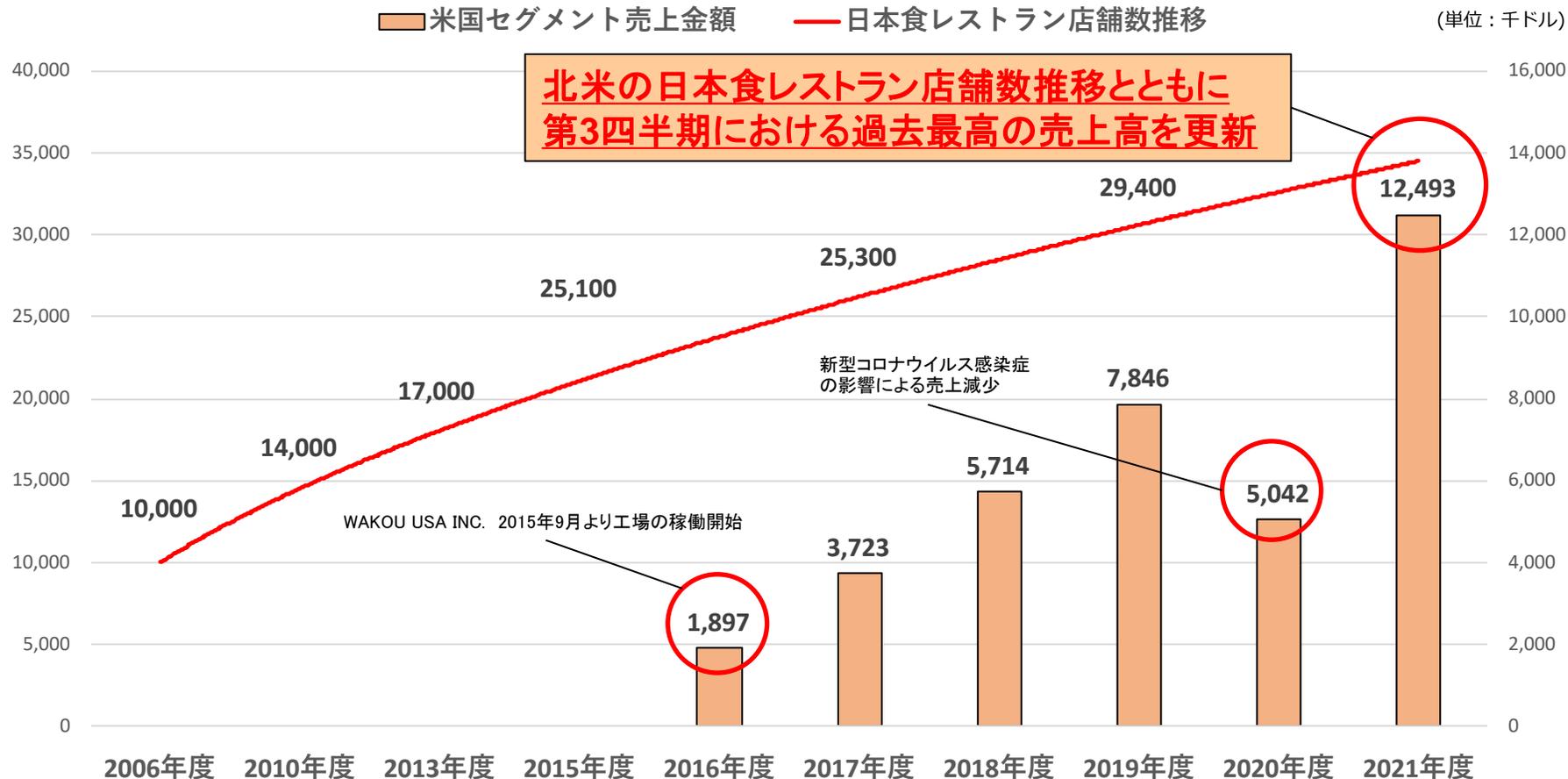
42.3%
売上構成比



・NB製品と同じく「豚骨系」スープの売れ行きが好調に推移

・ラーメン専門店の店内飲食再開などにより、需要が回復傾向。

日本食レストラン店舗数と第3四半期売上高の推移



※2020年、2021年の店舗数は当社予測値

参考文献 農林水産省(2006)『海外における日本食レストランの現状について』 農林水産省(2016)『日本食・食文化の海外普及について』 農林水産省(2017)『海外における日本食レストランの数』
農林水産省(2019)『海外における日本食レストランの数』

1. トップメッセージ
2. 2022年3月期 第3四半期 連結決算概要
3. 日本セグメント概要
4. 米国セグメント概要
5. 2022年3月期 連結業績予想

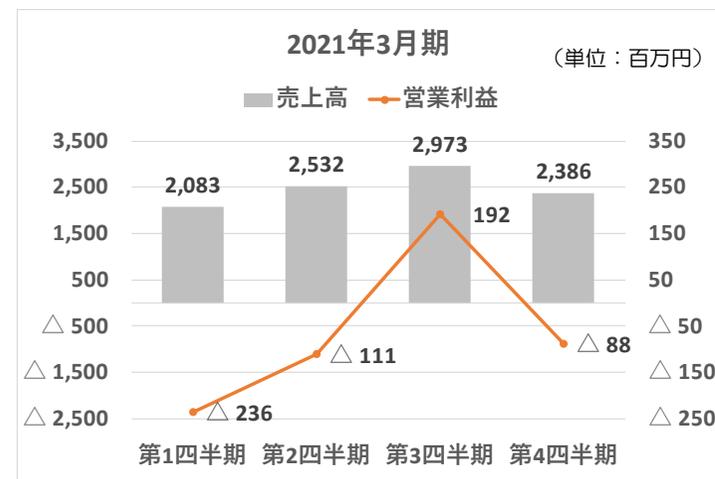
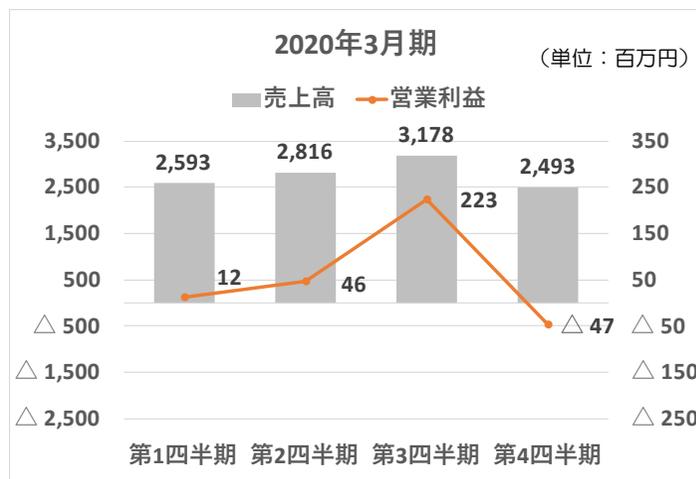
	2022年3月期 連結業績予想 (当初)	2022年3月期 連結業績予想 (修正)	増減	増減率	〈参考〉 前期実績
売上高	10,644	11,298	654	6.1%	9,975
営業利益	187	381	194	103.5%	△244
経常利益	210	383	172	82.0%	△177
当期純利益	182	357	174	95.8%	△238

《修正の理由》

2022年3月期の通期業績の見通しにつきましては、米国においてコロナ禍の継続にも関わらず経済活動の正常化が進展し、外食需要の回復も見られたこと等により、海外子会社の主要販売先であります外食市場向け業務用調味料の販売が堅調に推移した結果、前回公表した業績予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましても、海外子会社の生産性向上とコスト削減に取り組んだ結果により製造原価率が低減し、各段階利益で前回公表した業績予想を上回る見込みとなりました。

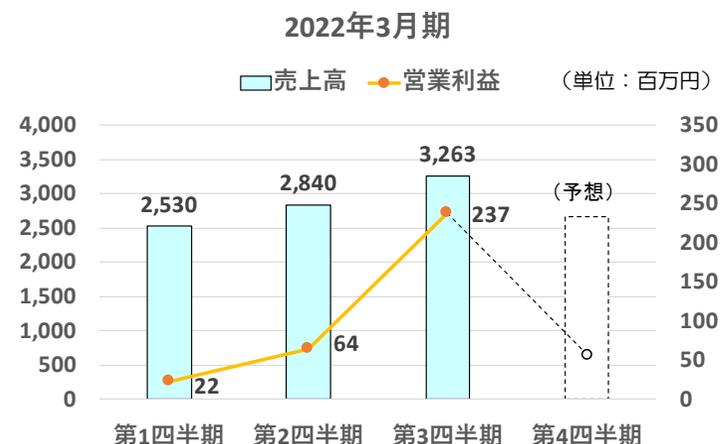
新型コロナウイルス感染症に伴う影響や海外経済の減速懸念、原材料価格の変動リスク等、依然として不透明な状況が続いており、今後の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

・過去2期のトレンドを踏まえると、第4四半期は低調に推移する傾向



(単位：百万円)

項目	2022年3月期 第3四半期実績	2022年3月期 通期業績予想	通期予想 達成率
売上高	8,634	11,298	76.4%
営業利益	324	381	85.0%
経常利益	323	383	84.3%
当期純利益	305	357	85.4%



- ◆本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。
- ◆本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：廣崎

TEL：0134-62-0505

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp